第３号様式（第４条、第20条関係）（用紙　日本産業規格Ａ４縦長型）

公　害　防　止　方　法　概　要　書公害防止方法計画書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 公害発生源の指定施設 | 発生する公害の種類 | 発生源での公害の程度の予測値又は実測値 | 排出口、敷地の境界線等での公害の程度の予測値又は実測 値 | 公害防止対策及び予測値の算出根拠 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法 | □　排煙の排出方法概要書（付表１）□　硫黄酸化物の排出量明細書（付表２）□　窒素酸化物の排出量明細書（窒素酸化物に係る特定事業所に限る。）（付表３）□　窒素酸化物の排出量明細書（ボイラーに限る。）（付表４）□　窒素酸化物の排出量明細書（ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスエンジンに限る。）（付表５）□　炭化水素系物質の排出に係る施設の設備概要書及び排出防止処理方法概要書（付表５の２）□　ばいじんの排出量明細書（ボイラー（固体燃料を燃焼させるものを除く。）に限る。）（付表６）□　ばいじんの排出量明細書（廃棄物焼却炉に限る。）及び廃棄物焼却炉の設備概要書（付表７）□　粉じんの処理方法概要書（付表８）□　悪臭の処理方法概要書（付表９）□　排水の処理方法概要書（付表10）□　排水の汚染状態及び量等の明細書（付表11）□　地下浸透禁止物質の製造等をする作業に係る施設の構造概要書（付表12）□　騒音の処理方法概要書（付表13）□　振動の処理方法概要書（付表14）□　付表１から付表14までの書類のほか、指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法を明らかにする図面、表等 |

備考　１ 発生する公害の種類の欄には、条例第25条第１項、第28条第１項及び第32条第１項に規定する規制基準が適用される公害の種類を記入してください。大気の汚染及び水質の汚濁に係るものにあっては別表第２から別表第６まで、別表第９及び別表第10に掲げる物質名を、粉じん、悪臭、騒音及び振動に係るものにあってはその旨を記入してください。

２　発生源での公害の程度の予測値又は実測値の欄には発生源での最大値を、排出口、敷地の境界線等での公害の程度の予測値又は実測値の欄には排出口、敷地の境界線等での最大値を記入してください。なお、予測値とは設計計算上理論的に証明された数値のことをいい、実測値とは同一施設の実証試験の結果又は類似施設の測定結果をいいます。

３ 指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法の欄には、添付したものについて□内に***レ*** 印を記入してください。